

# 3rd Concert

芦屋室内合奏団

1967. 7. 2 P.M 2:30

於 芦屋市民会館

## ごあいさつ

夏もそろそろ本格的になつて参りましたが皆様益々御清栄のことと存じます。

さて今回は皆様の御援助により第3回目の定期演奏会を開催するはこびとなりましたので御案内申し上げます。

未熟ではございますが、御来場のうえ御高評たまわりますよう、御願い申しあげます。

昭和42年6月

芦屋室内合奏団 団員一同

## 芦屋室内合奏団を聞いて

平島百合

この合奏団は、大学の交響楽団で活躍された方々によつて結成され、大先輩の橋本氏が主宰しておられます。好楽家の自発的な集りまですから、指揮者の中島氏は統制に骨を折られることと思いますが、作り出される音楽はそれだけに、高度のアンサンブルと at-home な雰囲気を持つことが出来るのだと思います。

私はこれまでの2回の公演を拝聴させていただきましたが、その急速な技術的進歩に敬服しております。ほんとうに若さの力だと思います。皆さんが合奏を楽しんでおられる喜びが溢れ出て、聞いている我々まで、すっかり楽しくなりました。今回も更に磨きのかかった演奏を聞かせていただけることと楽しみに致しております。

入場

整理券

本券1枚につき、お1人様ご入場下さい

# PROGRAM

## I 合奏協奏曲 第11番 ニ短調 作品3

ヴィヴァルディ

アレグロ—アダージョ—アレグロ

ラルゴ・エ・スピッカート

アレグロ

## II ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調

ヨハン・セバスティアン・バッハ

アレグロ

アダージョ

アレグロ

— 休 憩 (15分) —

## III 弦楽のためのセレナード ハ長調 作品48

チャイコフスキー

アンダンテ—アレグロ・モデラート

モデラート

ラルゲット・エレジアコ

アンダンテ—アレグロ・コン・スピリト

ピアノ独奏

日 下 公 子

指 揮

中 島 良 能

芦屋室内合奏団

→ (現中島公子)

1967. 7. 2.

## Conductor

### 中島良能

中学時代より合奏を始め、高校のブラスバンドで指揮棒をとる。神戸大学交響楽団では3年間指揮棒をとるかたわら、作編曲等の理論活動や部員の指導など広範囲な活動により、大きな足跡を残した。昭和26年ヴァイオリンを始めて以来、チェロやトランペットをはじめ、あらゆる楽器に精通し、生来の音楽性と永年の研究に支えられたこれらの経験が、豊かな指導性となってこの合奏団に充実した音楽を与えている。創立以来育てて来たこの合奏団をさらに飛躍させる指揮者と期待されている。昭和38年神戸大（経営）卒。日本I・B・M（株）勤務。

## Solist

### 日下公子

幼少の頃よりピアノを始める。梅田志津子、田村宏両氏に師事。昭和40年東京芸大ピアノ科卒。現在武庫川学院ピアノ科及び華頂高校ピアノ科講師。

## 1st Violin

### 鳥丸安雄（コンサート・マスター）

昭和28年Vnを始める。永野善三郎氏に師事。高校時代より合奏を始め、神戸大学交響楽団ではコンサートマスターをつとめる。神戸大学大学院（工）在学中。

### 岩淵正紀

昭和26年Vnを始め植野豊子、有松洋子両氏に師事。東大管弦楽団ではコンサートマスターをつとめる。昭和39年東大（経）卒。司法修習生（神戸配属）。

### 伊藤耕平

昭和29年Vnを始める。吉田信継、島暢子両氏に師事。昭和40年よりチェロも習得。現在甲南大学交響楽団コンサートマスター。甲南大（法）4年在学中。

### 芝田英夫

昭和24年松本市で鈴木才能教育によりVnを始める。高校時代より合奏を始め東京工大管弦楽団ではコンサートマスターをつとめる。昭和41年東工大卒。（株）神戸製鋼所勤務。

### 山中俊夫

昭和32年吉井健三氏に師事してVnを始める。同35年より3年間朝日ジュニアオーケストラに在籍。甲南大学交響楽団ではコンサートマスター、指揮者をつとめる。昭和39年甲南大（経）卒。大阪市信用金庫勤務。

## 2nd Violin

### 木原啓子（2nd Vnパートリーダー）

昭和26年Vnを始め、西崎信二、石井純、野間太郎氏らに師事。幼少の頃より合奏を始め。現在大阪学芸大学特設音楽科管弦楽団コンサートマスター。同大学4年在学中。

### 藤本恭子

昭和26年Vnを始める。山本斌、児島慶二郎両氏に師事。高校時代より合奏を始め神戸大学交響楽団ではコンサートマスターをつとめる。昭和40年神戸大（理）卒。塩野義製薬（株）勤務。

### 橋本宗夫

大正12年神戸高商予科入学と同時にVnを始める。昭和36年より2年間辻吉之助氏に師事。高商オーケストラ時代にはコンサートマスターをつとめる。対外的には当合奏団の代表者であり、対内的には寛容な父親型の支持者である。当合奏団創立の発想者であり、その育成のために尽力している。昭和2年神戸高商（現神戸大学）、昭和5年東京商大（現一ツ橋大）卒。



### 神 崎 節 子

昭和26年古武滋野氏に師事してVnを始める。合奏経験は当団が初めてであるが、高校、大学を通じて合唱団に在籍。神戸女学院大(文)4年在学中。

### Viola

#### 田 中 真 弓 (ヴィオラパートリーダー)

昭和25年Vnを始め30年にヴィオラに転向。この間小杉博英氏に師事。以後神戸大学、東北大学の各交響楽団でヴィオラのトップ奏者をつとめたほか、大阪放送交響楽団にも客員として2年間在籍。昭和36年東北大(法)卒。

日本I・B・M(株)勤務。

#### 富 田 良 吉

昭和25年Vnを始める。水野勝一、鞍谷敦子両氏に師事。神戸大学交響楽団ではコンサートマスターをつとめる。昭和39年神戸大(工)卒。

阪急不動産(株)勤務。

#### 青 柳 良

昭和31年Vnを始め、同33年ヴィオラに転向。この間児島慶二郎氏に師事。神戸大学交響楽団ではヴィオラのトップ奏者をつとめる。昭和41年神戸大(経)卒。

(株)大和銀行勤務。

### V. Cello

#### 石 井 博 (コンティニュー・リーダー)

昭和35年大学入学と同時にチェロを始める。伊東正澄、島雅昭両氏に師事。東京工大管弦楽団ではチェロのトップ奏者をつとめる。昭和39年東工大卒。

(株)神戸製鋼所勤務。

#### 平 島 直 子

昭和23年安芸幸子氏についてピアノを始め、27年からはVnを習得。38年チェロに転向し、安田雅一、井上頼豊両氏に師事。神戸大学交響楽団ではチェロのトップ奏者をつとめる。関西学院大大学院在学中。

### C. Bass

#### 堀 節 男

昭和35年山本治氏に師事してコントラバスを始める。東大管弦楽団ではコントラバスのトップ奏者をつとめる。勤め先の帝人(株)では同社大阪合唱団の指揮者をつとめている。昭和39年東大(経)卒。

# 会場案内図

